



成田ともきニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244 東松ヶ丘7-1-306 TEL/FAX73-8313

生駒市長 議会の議決尊重せず

市政初の再議権行使 強権的な市政運営に懸念

10月9日に閉会した市議会で公明党議員3名を含む13名の議員の連名で提出した一般会計補正予算案の修正案と再修正案が、一旦は賛成多数で可決した後、山下市長からの再議（意味別掲）申し立てで二度にわたり否決されるといふ事態が発生しました。

目）の再議の際「政治は妥協である」との持論を述べ、議会に譲歩を求めました。しかし、僅差とは言えない議決にもかかわらず、自らはまったく歩み寄る意向を示さず、「原案確定まで何度でも再議を繰り返す」との強硬な姿勢を崩しませんでした。

目）の再議の際「政治は妥協である」との持論を述べ、議会に譲歩を求めました。しかし、僅差とは言えない議決にもかかわらず、自らはまったく歩み寄る意向を示さず、「原案確定まで何度でも再議を繰り返す」との強硬な姿勢を崩しませんでした。

事態を重く見た議会は、修目当てる予算修正権の濫用」

市長は議会の意思を「政局目当てる予算修正権の濫用」

【再議】とは？
首長は議会が可決した議案に異議があれば、10日以内に審議をやり直す「再議」を求めることができる。（地方自治法176条）再議後、再び同じ議案を可決させるためには、出席議員の3分の2以上の賛成が必要で、再議前の過半数よりもハードルが高くなる。

議会が修正（削除）すべきと判断した予算は、スマートフォンコミュニケーション推進奨励金と生駒駅前北口再開発ビルへのアテナシヨップ設置関連費。いずれも事業実施に際し課題が多く、また、仮に予算が執行されない場合でも、市民生活への影響は限定的なため、市に対し、再考すべきとの意思を示したものです。

会期を延長し、慎重な審査に付された修正案は、議長も加わった採決の結果、賛成15、反対8で再議における可決に必要な3分の2に1票届かない形で否決となりました。

市長は再修正案（二回

病院事業にも暗雲

再来年6月の開設を目指し、すでに建物工事が始まっている市立病院の指定管理者である医療法人「徳洲会」グループによる公職選挙法違反事件が各メディアで報道されました。

（9月17日に東京地検特捜部が徳洲会東京本部及び徳洲会湘南鎌倉総合病院など強制捜査）そのため、議会は10月2日、急きょ病院事業特別委員会を開き、市の今後の対応を質しました。

委員である成田ともきの「指定管理者とし

徳洲会を東京地検特捜部が強制捜査

ての信用を損ねる行為ではないのか」との質問に対し、市長は「指定管理者の適格性は医療行為についてのみ判断すべきだ。有罪判決ができれば遺憾だが、現場の医療行為とは別」との見解を示しました。

その後、委員間討論を行い、成田ともきは「公立施設の運営を担う法人に法令順守と政治的中立性、公正性が求められるのは当然。公選法違反が事実であれば、締結済みの協定書38条の指定の取消し事由（信用失墜行為）に当たる」と意見を述べました。

市民が安心して利用できる病院開設に向け、今後の捜査の進展を注視しつつ、最善を尽くしてまいります。





平成25年9月議会 一般質問

(要旨、詳細は会議録をご覧ください)

空き家対策について
道路橋の老朽化対策
予防保全について

空き家対策について

全 国的に空き家が地域の課題となっており、昨年の調査では市内には老朽空き家が82軒あり、そのうち倒壊の危険があるものは7軒。対策が急がれています。

本年7月、「生駒市空き家等の適正管理に関する条例」が施行され、危険な状態と認められた空き家の所有者に対して必要な措置を講じるよう、市が指導勧告、命令及び行政代執行できることとなりました。市民からも危険空き家の撤去等が迅速に進むことが期待されています。施行後の状況及び市の空き家対策の取組みについて質問しました。

問 空き家条例施行後、倒壊の恐れのある危険な老朽空き家への対応は進展しているのか。

答 条例の規定による解体補助金を利用しての解体に着手済みが1軒、解体をせずにリフォームによる対応が1軒、文

書による指導や所有者特定の前作業中が5軒という状況である。

問 空き家対策は解体撤去だけではなく、使用可能な空き家の再生や活用促進策及び改修費の補助などは検討しているのか。

答 国や県の動向を見ながら、空き家も含めた中古住宅の活用促進策やリフォーム誘導策を検討している。

問 解体撤去を促進するための税制面での優遇及び強化、空き家発生防止のための転入者への特典の付与や介護保険による住宅改修費や福祉用具購入費の受領委任払い(一時立替え払いが不要となる)制度の導入などの施策は検討しているのか。

答 解体後数年間にわたる固定資産税の減免による危険空き家の除去促進策については検討している。新婚世帯への家賃補助、転入者への特典付与は、本市は現在、

人口増で推移しており、大和郡山市で導入が検討されているような施策を導入することは考えていない。また、固定資産税の課税標準の特例解除(税制強化)についても検討していない。現在、介護保険による住宅改修、福祉用具購入費は償還払い(一時立替え払い)としているが、利用者の負担軽減の観点から、今後、受領委任払いの導入も検討したい。

道路橋の老朽化対策 予防保全について

問 事後保全を予防した場合のコスト削減効果はどれくらいか。

答 本市の試算はこれ果試算済みの奈良県及び県内の自治体では、橋の架替えを予防保全による長寿命化に転換することにより、今後50年間で6割以上の削減効果が見込まれている。

成田ともきホームページはこちらから

成田ともき

検索

自由自在

再議理由について市長曰く「地方自治法により市長に認められた正当な権利である再議権を市長が行使せずとも済むように、市の最終意思決定機関である市議会がその権限と権威にふさわしい行動をとっていただきたい」?? 議会に対し、行政を監視する責務と役割を放棄せよとしか解せない放言。見過ごすわけにはいかない。(智)

9月議会で成立した補正予算(抜粋)

家庭用燃料電池設置補助金
保育士等処遇改善臨時特例事業補助金
学校施設老朽化対策先導事業(桜ヶ丘小)
市営自動車駐車場照明のLED化

生駒市議会主催

市民懇談会

平成25年11月23日(土・祝)

10時~	北コミュニティセンター ISTAはばたき
14時~	市役所4階会議室

平成25年11月24日(日)

10時~	市役所4階会議室
14時~	南コミュニティセンター せせらぎ

テーマ：議会基本条例について 他(予定)

議会改革情報

今年は11月に開催します